

秩父ミュージズパーク 自然体験

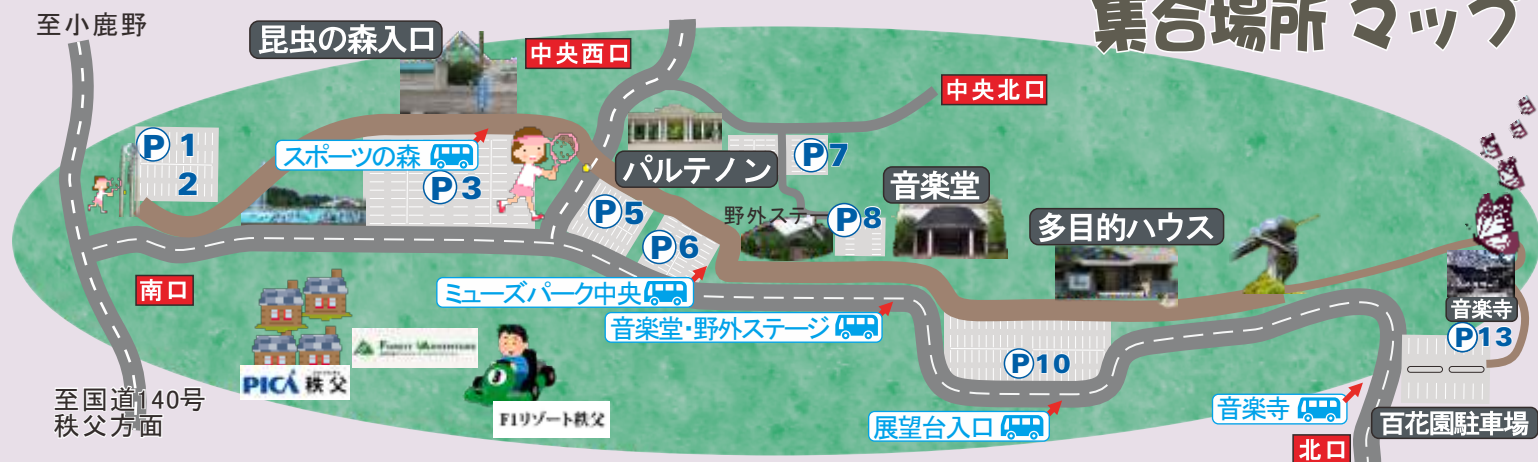
星座 鳥 菌類 両生類
スポーツ 昆虫 植物

2025

当公園では、動植物などの専門知識を持つボランティアである「公園インストラクター」の方々の協力を得て、各種イベントを実施しています。2025年度はこのリーフレットのイベントを開催します。どうぞ積極的にご参加下さい。

公園インストラクター事業
各種イベントの申し込み・お問い合わせは、秩父ミュージズパーク管理事務所まで
電話：0494-25-1315 FAX：0494-21-1039

秩父ミュージズパーク 自然体験 集合場所 マップ



はじめてのノルディックウォーキング 5月18日 9:30~11:30 日

集合場所 パルテノン
申し込み 事前受付 (先着20名)
費用 500円 (ポール貸出含む)
持ち物 補給水・タオルなど
※ポールは貸し出します。
服装 運動のできる服装

子ども昆虫探検隊 7月5日 9:00~正午 土

集合場所 昆虫の森入口
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 虫かご・虫取り網
服装 帽子・歩きやすい服装 (林の中も歩きます)

講演会 8月30日 14:00~15:30 土

ミュージズパークのチョウたち
集合場所 音楽堂
費用 無料
申し込み 当日受付
雨天 決行
見どころ 長年に渡り秩父ミュージズパークの蝶を観測してきた石塚先生の講演会です

初夏の山野草観察会 6月7日 9:30~正午 土

集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 ルーベ・カメラ等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
※山野草に詳しい先生にお話を聞きながら園内を散策します。

オリジナルキット 太陽系模型を作ろう 8月12日 18:00~19:00 火

集合場所 音楽堂受付
・ホワイエが教室
費用 500円
※6月15日午前10時申込み受付開始
定員 25組 (申込み先着順)
特典 完成品はお持ち帰りできます。

きのこ観察会 9月27日 9:00~正午 土

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
申し込み 当日受付
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・トンク・カゴなど
最後に鑑定会を行います。

ホタル観賞の夕べ 6月28日 18:30~20:30 土

集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 懐中電灯
雨天 小雨決行

ホタルの生態を学び、園内の沢辺に自然発生するホタルの群れの飛が様子を観賞します。

ゲンジボタル 例年6月23日頃~7月8日頃 飛翔期間 最も飛ぶ時間帯は午後8時頃です！

- ホタル観賞には「光」が大敵です。懐中電灯は足元だけ照らしてください。
- 車のライトは下向きにしてください。
- 駐車はP7駐車場をご利用ください。
- 路上での駐車はご遠慮ください。

夏の星座観察会 8月12日 19:00~21:00 火

集合場所 音楽堂受付
費用 無料
申し込み 当日受付
雨天 スライド上映になります。

夏の星座・月 ペルセウス座流星群など

定期星座観察会 毎月第2・4 土

秩父ミュージズパーク後援事業
集合場所 多目的ハウス (雨天実施)
費用・受付 無料・当日受付
春夏 19:00~21:00
4月12日 4月26日 5月10日 5月24日 6月14日 6月28日 7月12日
夏は毎週 7月26日 8月2日 8月9日 8月16日 8月23日 8月30日

秋冬 18:00~20:00 9月13日 9月27日
10月11日 10月25日 11月8日 11月22日 12月13日 12月27日
2026年 1月10日 1月24日 2月14日 2月28日 3月14日 3月28日
※8月・12月は、各星座観察会も参照ください

あき 秋の山野草観察会 10月4日 9:30~正午 土

集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・カメラ・筆記用具等
山野草に詳しい先生にお話を聞きながら園内を散策します。

はじめてのノルディックウォーキング 10月26日 9:30~11:30 日

集合場所 パルテノン
費用 500円 (ポール貸出)
申し込み 事前申し込み (先着20名)
持ち物 補給水・タオルなど
※ポールは貸し出します。
服装 運動のできる服装

冬の星座観察会 12月13日 18:00~20:00 土

集合場所 音楽堂受付
費用 無料
申し込み 当日受付
雨天 中止
服装 暖かい服装
ふたご座流星群極大 冬の星座 土星 木星

かどまつ つく ミニ門松を作ってみよう 12月14日 9:30~正午 日

集合場所 音楽堂受付
費用 500円
※11月15日午前10時申込み受付開始
申し込み 事前受付 (申込み先着順50個)
雨天 決行
秩父ミュージズパーク産の竹を使用して個性豊かなミニ門松を作成しよう。

ふゆ いき ものかんさつかい 冬の生き物観察会 12月20日 9:00~正午 土

集合場所 昆虫の森入口
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 ルーベ・カメラ・トンク等
服装 帽子・歩きやすい服装 (林の中も歩きます)

バードウォッチング 2026 2月1日 9:00~正午 日

集合場所 百花園駐車場
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 望遠鏡・双眼鏡・カメラ・筆記用具等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
最後に鳥合わせを行います。

かたくり観察会 2026 3月28日 10:00~正午 土

集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 ルーベ・カメラ等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
ニリンソウ・アズマイチゲ・水芭蕉等も群生しています。

海を渡るチョウ「アサギマダラ」

アサギマダラは夏を涼しい本州の高原などで過ごし、秋には新しい世代が暖かな南をめざして移動します。鱗粉の少ない浅藍色 (空色) の羽で風に乗り、「フワーリ、フワーリ」と飛び美しい大型の蝶です。一番長い距離を飛んだ記録は、蔵王高原から沖縄与那国島までの2, 246 kmだそうです。

ミュージズパークには、だいたい旅の途中の10月中旬頃に、白いフジバカマやサケバヒヨドリの花を求めて舞い降り、去っていきます。ぜひ、秩父ミュージズパークに隣接する音楽寺の花園において下さい。葉草フジバカマなどの花を見つけながら南下して子孫を残し、また翌年には北の故郷にもどってくるアサギマダラの長い旅も、驚異的移动能力も、謎やロマンに満ちています。(飯家明)

星空を眺めて宇宙を感じてみませんか

本物を見ましょう

世界最大級の望遠鏡や、人工衛星に載せた大型望遠鏡から正確で美しい映像が送られてくる時代になりました。コンピュータグラフィックスで書かれた惑星の図なども有ります。

今度は秩父ミュージックパークで、本物の木星や土星、月などを見てみましょう。思ったより木星は小さく、月のクレーターも影の長さが毎回違って来るのがわかってきます。何か新しいことを発見できるかもしれません。

直径30cm～15cmの大望遠鏡を用意します。「星空博士」の資格を持ったおじさんたちが、星座や神話を案内します。

○天体観測会○ 毎月実施

毎月第2・第4土曜日、多目的ハウスにて、夏期は午後7時から冬期は午後6時から星座の解説をはじめます。惑星や銀河、星雲、流星など、折々の現象を解説します。

※8月はインストラクタ事業にあわせて、日程場所が変更になります。インストラクター事業の予定を参照してください。

(内藤 定芳)

ホタル観賞

ゲンジボタルとヘイケボタルは幼虫の時、水中で過ごします。ホタルは世界中で2千種類位居ると言われていますが、日本では45種と言われる中で、幼虫時代水中で過ごすのは世界中でも一桁台の珍しい貴重なホタルなので、いつまでも残したいと思っています。

秩父ミュージックパーク駒沢ホタルの里では、主にゲンジボタルですが、少し上部にある田んぼの所でヘイケボタルも飛びます。ホタルが飛ぶのは、オスのホタルがメスのホタルを探して飛びますが、オス7匹に対してメス1匹と言われているように雌が少なく、また成虫になる時も雄が飛び出してから約1週間後位に飛び出します。

雌は草の葉などに止まって気に入った雄が来るのを待っています。(昔は、草の中で光るのは、蛇の目が光ると言われて、草の中のホタルを取っていませんでしたが、種を残すために旨い事をいったと思います。)

ホタルは昆虫ですので、卵、幼虫、さなぎ、成虫と姿を変えます。この中で、皆様が見えるのは成虫の短い期間ですが、幼虫時代が長く、秩父地域で2年から5年位かけて成虫になります。同じ卵から生まれた幼虫でも成虫になるのがこのように差が生じるのは天候や災害、環境の変化などで卵が産めない状況になっても幼虫として生き残れます。

このような生態なので稲作が始まった古代の昔よりホタルの種が保たれたと思います。ここ駒沢地区のゲンジボタルは、少し下流の人家より下流に飛んでいましたが、この地区の環境を整備し、学校給食の残飯を巻く事により幼虫の餌であるカワニナの生育など、行うことによって、この地区にホタルが飛ぶようになりました。環境を壊さずにホタルを取らないで鑑賞してください。

(坂本文雄)

※2025年度、実施予定のイベントは裏面にございます。皆様のご参加をお待ちしております。

多彩な山野草の世界

ミュージックパーク及びその周辺地域では、野生植物だけでも500種類以上もの植物が分布しており、植物種の多様性から見ても重要なスポットである。

中でも、埼玉県、レッドデータブック植物編に記録されている植物では、アカハナフラビ、コヒロハハナヤスリ、サクライカグマ、タニヘゴ、オオカナダラビ、アズマズゲ、カタクリ、ヒメニラ、ステゴビル、シロバナエンレイソウ、イカリソウ、アズマイチゲ、



ウメガサソウ (初夏)

ネコノメソウ、マキノスミレ、アキノギンリョウソウ、キクタンギク、ウメガサソウ、アケボノスミレ、オオヤマツツジ、オオヒキヨモギ、アサヒゴタイなどが見られる。



ツクシハギ (秋)

○ワンポイントアドバイス○

シダ類植物の場合は孢子のう群の形や付く位置、鱗粉の色や形・花弁の先が筒状になっているかなど、また、茎、花柄などの毛の有無や伏毛か又は開出毛かなども区別点として重要。

(岩田 豊太郎)

動物たちの世界をのぞいてみよう

秩父ミュージックパークには四季を通していろいろな動物が暮らしています。夏は子どもたちの大好きなカブトムシやクワガタが見られます。夏、ミュージックパークの大きなクヌギには



オオムラサキやカナブン、ちゅとこわいスズメバチなどが樹液を吸おうと集まっています。夜にはお待ちかねのカブトムシやクワガタが登場します。

昼間のチョウに代わって大きなガも樹液に集まります。樹液の出る木を見つけて昆虫の変化を観察するのも楽しい夏の思い出になるでしょう。

昆虫ばかりでなく、ミュージックパークにはタヌキやシカ、イノシシも姿を現します。昼間見るのは難しいですが、住んでいる証拠は見つかります。それは糞です。「昆虫の森」ではそんなけものたちの通り道や糞、縄張りを示す枝折りなどからその生活ぶりを知ることができます。あなたも土の掘りあとや糞を見つけながら、探偵になってけものを追跡する一日を過ごしてみませんか。

(町田 和彦)

ノルディックウォーキング



とにより、足腰への負担の軽減を実感しながらも高い運動効果を得られます。季節を問わず簡単にできるので健康の維持・増進、運動不足の解消に役立つスポーツとして注目されています。

(中村 繁樹)



クロスカントリースキーをもとにフィンランドで発表されたノルディックウォーキングは、ヨーロッパを中心に多くの人に愛好されています。2本の専用ポールを活用した全身運動で歩くこ

きのこの世界



ヤマドリタケ (初夏)

ミュージックパークはきのこの発生にはかなり良いロケーションです。南東向きの日当たりの良い斜面、マツやモミを含む雑木林、整備された遊歩道、林内も程よく手入れされてます。きのこと言えば秋がシーズンですが、梅雨明けから多種多様なきのこが発生します。迷信に惑わされることなく、図鑑と見比べ、正しく判別する練習をしましょう。

(田代和照)



マイタケ (秋)

小さい生き物たちの世界をみてみよう



サンショウウオの卵

の幼虫(ヤゴ)を観察する事が出来ます。朽木や落葉の下を探し、子供達に大人気カブトムシなどの幼虫を見つけてみましょう。歩きやすいハイキングシューズ等でご参加下さい。(江原 繁)



トンボの幼虫 (ヤゴ)

バードウォッチングははじめませんか

○ 秩父ミュージックパークで観られる野鳥 ○ 秩父では、168種類確認されている内、ミュージックパークでは75種類確認されています。

一年中見られる留鳥、春フィリピンなど南方から繁殖に来る夏鳥。シベリアなどから越冬に来る冬鳥などに別れています。冬のバードウォッチングは留鳥と冬鳥を見る事が出来、野鳥は早朝の方がよく見られます。

冬は木の葉も落ちて見通しがきき、林の中にいる鳥もよく見ることが出来ます。たとえば、木の天辺に止まる鳥、カワラヒワ、中程には、シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・メジロ・コゲラ(冬は小

群でいる) 藪は、ウグイス・ホオジロ(留鳥)・ベニマシコ・アオジ・カヤクグリ(冬鳥) 地表では、ハクセキレイ・セグロセキレイ(留鳥)・ツグミ・シロハラ(冬鳥)などが見ることが出来ます。

いつ・どこで・何を見たかを付けておく、フィールドノートがあると良いです。

ハンディ図鑑があれば早く確認できます。

○ 双眼鏡の選び方 ○

双眼鏡があれば世界が広がります。倍率が大きいとアップで見れると思いますが視野が狭くブレが生じます。

★代表的なレンズ口径は次のサイズです。20口径 折りたたむと、手のひらに収まるコンパクト旅行等のシーンで大活躍。

30口径 バードウォッチング用の双眼鏡としてもっとも人気があるのがこのサイズ大きさ・重さ・見え味のバランスが良く。初めて双眼鏡を購入する方におすすめ。

40口径 他の口径にない明るさや視界の広さを持つがかさばり、重く、使いづらいと感じるかもしれません。

おすすめは 8×30、8×32 [倍率×対物レンズの口径(mm)] (丸山 政弘)



ミヤマホオジロ (冬鳥)



オオルリ (夏鳥)

冬を越すチョウ

チョウたちの仲間には、成虫で冬を越すチョウがいます。ここミュージックパークでもキタキチョウ、ムラサキシジミ、ムラサキツバメ、ウラギンシジミ、テングチョウ、アカタテハ、カタテハ、

シータテハ、ヒオドシチョウ、ルリタテハの10種類のチョウが成虫で冬を越しています。その中でも、写真のキタキチョウ、テ



キタキチョウ

ングチョウは、陽当たりの良い東または、南向き斜面で、テングチョウは枯れ葉の近くで、キタキチョウは冬でも緑の残る草や生垣などの低木の葉裏で冬を越します。時には、写真のように雪の中に埋まってしまう

こともあります。チョウたちは冬になると凍りにくい身体に変化するため、大丈夫なのです。これらのチョウたちが春、目覚めるのは、テングチョウが3月上旬、キタキチョウが3月下旬ころで、目覚めると直ぐに結婚相手を探し、卵を産みます。彼らの春の目覚めのタイミングは卵を産み付ける植物の萌芽に合わせているようです。

(石塚 正彦)



テングチョウ